

貯法
室温保存

使用期限
包装に表示の使用期限内 に使用すること。

皮膚疾患治療剤

グリテール®

GLYTEER®

承認番号	12413KUZ01988
薬価収載	薬価基準未収載
販売開始	1924年5月
再評価結果	1980年8月

【禁忌】(次の場合には使用しないこと)

本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

1. 組成

脱脂大豆乾留タール

2. 製剤の性状

褐色の液で、特異なおいがある。

【効能又は効果】

湿疹・皮膚炎群、掌蹠膿疱症、尋常性乾癬、皮膚瘙癢症

【用法及び用量】

通常、症状に応じ、各種軟膏基剤に0.2~5.0%に煉合し、患部に1日1~2回塗擦又は貼付する。なお、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 ^(注)	皮膚の発赤、瘙癢、刺激感、腫脹、光線過敏症

注) 使用を中止すること。

2. 適用上の注意

使用部位：眼科用として使用しないこと。

【薬効薬理】

1. 血管透過性亢進抑制作用¹⁾

グリテールはHartley系白色雄性モルモットにおいて、ヒスタミン、ブラジキニン誘発血管透過性亢進に対し濃度依存性抑制作用を示した。

2. 足浮腫抑制作用¹⁾

グリテールはWistar系雄性ラットにおいて、カラゲニン足浮腫に対し抑制作用を示した。

3. 紫外線紅斑及びアラキドン酸皮膚発赤抑制作用¹⁾

グリテールはHartley系白色雄性モルモットにおいて、紫外線紅斑及びアラキドン酸皮膚発赤に対し抑制作用を示した。

4. 蛋白滲出及び白血球遊走抑制作用²⁾

グリテールはWistar系雄性ラットを用いたCMC-pouch法において、蛋白滲出及び白血球遊走に対し抑制作用を示した。

5. I型及びIV型アレルギー反応抑制作用³⁾

グリテールはWistar系雄性ラットにおいて、I型アレルギーの48時間homologousPCA反応に対し抑制作用を示した。また、Jcl:ICR系雄性マウスにおいて、オキサゾロン誘発IV型アレルギー性皮膚炎に対し抑制作用を示した。

6. 抗乾癬作用⁴⁾

グリテールはddY系雄性マウスにおいて、乾癬モデルとして有効なTPA誘発皮膚反応である浮腫及び表皮増殖に対し抑制作用を示した。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：脱脂大豆乾留タール

性状：脱脂大豆を乾留精製して得た褐色の液で、特異なおいがある。

メタノール、エタノール(95)又はジエチルエーテルに混和し、水にほとんど溶けない。

大気中に放置すると、酸素を摂取して漸次紅色を帯びてくる。

【取り扱い上の注意】

使用後は蓋を強く閉めて貯蔵すること。

【包装】

グリテール 300g(瓶)

【主要文献】

- 1) 竹内久米司ほか：日本薬理学雑誌 1985;85(5):397-406
- 2) 竹内久米司ほか：日本薬理学雑誌 1988;91(1):1-7
- 3) 竹内久米司ほか：日本薬理学雑誌 1990;95(4):149-157
- 4) 伊藤幸次ほか：日本薬理学雑誌 1992;99(1):55-62

※※【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

藤永製薬株式会社 くすり相談室
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-14-1
フロントプレイス日本橋
TEL: 03-6327-2478
FAX: 03-6327-2479

製造販売元



藤永製薬株式会社

東京都中央区日本橋 2-14-1

販売元



第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1